

'13.4.3 中日新聞 27

# 私の先生

高学年になると週一回、約三十人の児童が集まって、実験や芸術活動に取り組む「創作クラブ」の時間がありました。安井先生は私の一、二年の担任で理科の先生。理科が好きだったこともあり、先

生は、名古屋市立有松小の「創作クラブ」でお世話になった安井伸二先生です。当時は珍しかったパソコンを教えてもらい、好きなものにこだわる大切さを教えてもらいました。

印象に残っている先生は、名古屋市立有松小の「創作クラブ」でお世話になった安井伸二先生です。当時は珍しかったパソコンを教えてもらい、好きなものにこだわる大切さを教えてもらいました。

## こだわる心 開発の力に



PDエアロスペース社長  
緒川修治さん(42)

一番覚えているのは教壇に置かれた箱型の大きなパソコン。先生が大須のアメ横に通つて電子部品を買って、と、先生から「何がだめだったか

に出ると、思つままにコンピューターを動かせることに感動しました。逆にエラーが出る

こと、正しくて」「死に試行錯誤しました。私は今、ベンチャー企業で宇宙機を開発しています。

自作したそうです。パソコンが広まる前のことで、興味津々になりました。

クラブでは、簡単なプログラムを打ち込んで、パソコンで足し算や引き算をしました。子どもの手には大きな

コンピューターと宇

宙機を開発しています。宇宙飛行士へのあこがれから始めましたが、少人数で資金も多くはありません。でも宇宙旅行の時代を切り開きたいと、研究に没頭しています。

（聞き手・石井宏樹）

生のクラブに入りました。

キーボードをたたいて、答えがスクリーン

1970年、名古屋市緑区生まれ。福井大工

学部を卒業後、三菱重工で4年間、戦闘機設計に携わる。東北大

学院でジェットエンジンの研究に取り組んだ後、2007年に宇

宙機開発のベンチャーエンジニア

企業「P

Dエアロスペ

ース」(名古屋市緑

区)を設立。有人宇宙

旅行の19年商業化を目指し、特許技術を盛り込ん

だ独自エンジンの

宇宙機開発を進めてい

る。

おがわ・しゅうじ

生から自由な心で好き

なものづくりに打ち込

む姿勢を学びました。

今、私が取り組んでい

る事業を知ったら、理

科好きの先生のことだ

から興味を持ってくれるかな。